

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0472200443		
法人名	社会福祉法人 鶴寿会		
事業所名	グループホームさわやか		
所在地	宮城県柴田郡川崎町大字川内字筑畑8-3		
自己評価作成日	平成23年	12月21日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://yell.hello-net.info/kouhyou/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会		
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階		
訪問調査日	平成24年	1月11日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四季折々の季節感を感じとりながら生活が出来る環境に位置しており、季節の食材を昔ながらの調理法にて昔を思い起こしながら味わっています。ホーム内の廊下が回廊式になっており中庭が設けられている為、雨の日や天気の悪い日でも園内の廊下を歩くだけで散歩の気分が味わえます。毎日「さわやか」独自の理念を唱和後、その日の目標を話してもらい仕事に入っています。午後のおやつ時間を利用し、歌を唄ったり・歌に合わせて体を動かす機会を多く取り入れ健康維持に繋げています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然豊かな環境の中に「グループホームさわやか」がある。同敷地内には2施設が併設されており日常的な交流と看護師等との協力関係が確立している。ホームは少し離れた山里にあり、高齢者ではあるがよく町へ出掛けて町民とふれあい、日々の生活にも役割を持ちリハビリをかねての合唱等、入居者が孤立することなく楽しんでいる。(家族の声も聴かされている)ホーム内は木のぬくもりと落ち着きがあり入居者の笑顔がとても明るい。また、家族懇談会を開催しており、出された意見等は即対応し反映されている。所長はケアマネージャーでもあり入居者一人ひとりの思いを汲み取り支援し、職員それぞれが自分の持ち味を活かしチームプレーで支えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

2 自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 **グループホーム さわやか**)「ユニット名」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を共有し、事業所独自の理念を職員全員で作り上げています。理念を共有する為、毎朝理念を唱和し法人理念を念頭に置きながら日々のケアに入っている。又、継続し職員に理念に沿った1日の仕事の目標を話してもらっている。	法人理念に加え独自の理念を掲げて唱和し職員間で共有している。年度末(3月)にケアを振り返り理念の確認をしている。また、毎月の目標を掲げ今月は、感染症対策で掃除を揚げ反省を含め、実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町への外出や買い物、地域の行事・小学校の行事等に積極的に参加をし、交流をし馴染みの関係作りや挨拶を交わせる場面を多く取り入れている。定期的に地域の方よりハーモニカのボランティアを受け入れ、終了後は一緒にお茶を飲み会話を持つまでの関係になっている。	町内会には加入していないが、公民館でのリースづくりや地域の行事・町民文化祭・小学校から招待状を頂き運動会や音楽会等にも参加している。買物へ出掛け地域の方から声を掛けて貰うなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	専門学生の実習生を受け入れています。面会に来園されたご家族様やご親戚様、知人の方等、又、来客においても認知症の理解を深めて頂くよう会話を持つ様努力をしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回地域の方達・ご家族様・町の職員・地域包括支援センターの職員に参加して頂き開催している。3月の震災を経験し、運営推進委員会のメンバーにて連絡網を作り今後の災害時等に活用出来る様話し合っています。各事業所で開催し、生活の様子を見て頂いている。	会議は年6回開催し町の職員や地域包括の職員も毎回参加している。ホームの報告後参加メンバーから、「防災訓練に区長が参加しているのか?区長に情報が入るのでその方がいい。」など会議は双方向になっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の担当職員とはいつでも相談が出来る馴染みの関係作りやに努めている。近くに来た際には立ち寄って頂き、挨拶を交わしたり、情報の交換を行っている。認定更新の調査等では、ご利用者様の暮らしぶりを見て頂いたり一緒にお茶を飲んで頂いたりし交流を深めている。	町の担当者は本日の外部評価に出席し助言もしている。また、運営推進会議にも毎回参加している。介護申請や認定の相談等連絡は密である。認定調査員も訪ねており協力関係を築く努力をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯は、防犯防止の為施錠はしていますが日中はオープンにして抑圧感のない見守りと職員間の連携に努めています。身体拘束については、職員会議やケアカンファレンスにおいて確認し合い拘束のないケアに徹しています。	身体拘束の弊害については全職員が熟知しており、職員会議(月1回)やケアカンファレンス(週1回)等で再確認している。個々の生活状況を掴んでおり見守りに徹し、拘束のないケアに努めている。日中玄関には錠はかけていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議・ケアカンファレンス・引継ぎ等において、利用者様に対する言葉使い、ケアの方法について話し合い、虐待に繋がる行為がなかったか確認をしています。虐待等の研修会に参加をし、研修報告会にて更に虐待についての認識を深めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度の研修会に積極的に参加をし、パンフレット等は回覧し全職員が周知できるようにしています。職員会議等で全職員に理解してもらえるよう報告書をまとめ報告会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には必ず契約等に関する説明を分かり易くする事を心掛けながら、納得を頂く説明をし、同意を得ています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	懇談会を実施し、ご家族様が意見を出しやすい雰囲気作りに努めています。出された意見は、職員全員に伝え運営等に反映させています。面会時には、必ず利用者様の生活等の様子を伝え要望等を伺うようにしています。	家族懇親会を行事後に実施している。話しやすい雰囲気の中で家族から停電の際にソーラー式ライトを玄関先や中庭に設置したらどうか？などの意見があり、会議で検討しソーラー式ライトは即設置され反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や申し送り等の時間に話し合える機会を設けている。毎月、支援・業務目標を全職員で掲げ、目標に向けて取り組んだ内容は反省点を踏まえながら職員に話してもらっている。	職員会議等で意見や提案など聞く機会はある。職員からの提案で入居者の足のむくみ防止の為に牛乳パックで作ったり、毎月の目標を掲げてそれに向けて取り組み反省点等職員から聴き、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を実施し、職員が向上心を持って働けるようにしている。資格習得や個々の職員に応じて研修会等に参加をもらい、自信を持って業務に携わることが出来るようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	地域包括支援センターの主催する研修会や法人主催の研修会等に参加をし、ケアの質の向上に努めている。外部の研修等については、職員の段階に応じて参加をし職員会議において、研修報告会を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協主催の研修会等に参加をしたり、GH協南ブロックの事例報告会等に参加をし、他事業所との交流を図りながらサービスの質の向上に努めている。認知症実践者研修を受講し、他事業所の職員とのネットワーク作りに繋がり情報交換の機会になっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様と同じ目線にて、話しやすい雰囲気作りに努めている。傾聴することで安心感を持って頂く事に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っている事等話し出せる雰囲気作りや傾聴を心がけ聞くことに徹し関係作りに努めている。又、事業所として出来るサービスを分かり易く説明し、安心して頂くことに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームがどういった施設であるかということ十分に理解して頂けるよう説明をすると共に、どういったサービスを要望されているのかという事もしっかりと把握している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の話を傾聴し、今までの経験による生活の知恵等をしっかりと受け継いでいけるように協調し合っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様が使用している食器・衣類等は、職員の一存で変える事なく、些細なことでもご家族様に連絡をし相談を持ちかけている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに入られる前に行きつけだった美容室や知人宅への訪問等ご利用者様の希望より、継続して交流が出来る様支援をしている。又、電話での会話も出来る様取次ぎ等の支援をしている。	希望する馴染みの美容院へ出掛けたり、床屋さんがホームに来てくれている。地元の病院で懐かしい人達と逢い、知人宅へも出掛けている。隣の施設へ新聞を取りに行き会話を楽しみ、関係性を大切に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様が全員集まるおやつ時間等では一人ひとりの思い入れがある歌等を把握し一緒に唄ったり過ごしたりし、楽しめる時間を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去をされたご家族様が時々ホームに立ち寄って頂き一緒にお茶を飲んで頂いたり、町で出会った時は積極的に挨拶を交わしたりの関係を保っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりや会話から一人ひとりの思いを把握することに努めている。言葉だけではなく、その時々々の表情からも真意を汲み取れるよう努力している。意思疎通の困難なご利用者様にはご家族様等からお話を聞くようにしている。	担当制を取っており、一人ひとりが日々のケアから思いや意向の把握に努め、気づきノートに記録している。食事中の急な立ち上がりは排泄のサイン・夜間に物を噛むのは小腹のすいた、その人の思いを汲み取り支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様の生活歴を把握することで更に理解が深められる為、プライバシーに配慮しながらご家族様達に過去の情報を教えてもらえる様努力しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりのご利用者様の生活の中で気づいた事・いつもと違うことは見逃さず記録にし、職員間で共有しながら現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様やご家族様には、日頃の関わりの中から思いや意見を伺い、より良い生活が送れるよう反映させている。職員間でアセスメントを行いながら意見交換、モニタリング、カンファレンスを行い介護計画書を作成している。	心身の気持ちシート(日々の生活の様子や気づき)を活用して職員間で話し合い、入居者のいつもと違う等の思いをカンファレンスで検討し家族の意向も聞いて介護計画書を作成している。計画書は同意を得て渡している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の業務日誌・気づきノートに個別の生活の様子や健康面での変化について記録し、引き継ぐ事で情報を共有している。その中で、早急に対応が必要な事項や気づきについては職員間で話し合い介護計画に繋げている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方より面会に来た際は、一緒に食事が出来るよう柔軟に対応をしている。通院や外出等の送迎には、柔軟に対応し、満足をして頂ける様努力している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町の公民館で行われたクリスマスのリース作りに参加をしている。法人内の事業所よりリフトカーやワゴン車を借りて町内にある観光地に出掛けたりしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの医療機関で受診出来るようにしている。ご家族様が付き添えない場合は、希望により付き添い送迎を行っている。受診後は、必ず報告をし、状態を把握して頂いている。通院が難しいご利用者様には訪問診療をお願いしている。	かかりつけ医に継続して受診し、家族と協力して支援している。通院困難な方への支援は協力医や眼科医から月1回の訪問診療があり、併設の看護師からも助言を受けている。受診結果は記録し家族に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご利用者様の体調の変化には常に心配りし、早期対応に努め判断が難しい状態時には法人の看護師に相談をし、適切な対応や医療に繋がるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院になった場合は、サマリーを作成し病歴等や生活の状況を把握してもらうように情報交換に努めている。見舞いに出向き入院中の状況を把握しながら、病院関係者と情報の交換が出来るようにしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様にアンケートを取ったり又、懇談会において話し合いの場を設けたりして不安なく過ごせるよう取り組んでいます。ご家族様が遠方の場合は、面会時に話し合いを設けホーム側の方針を説明し、意向を伺っている。	ホームで看取りを体験している。目標達成計画の看取り指針・マニュアルの見直し家族への説明等、入居者や家族の1番いい方法を選択してもらい、段階に応じての合意としている。看取りは家族や医師の協力のもとにあるとし、職員は前向きに捉えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員上級救命講習会に参加をし、心肺蘇生法・AEDを用いた応急手当、外傷等の手当方法を学んでいます。合同避難訓練時にも消防署員よりAEDの講習会を受けています。毎月夜間を想定しての訓練をマニュアルに沿って実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得ながら、マニュアルに沿って合同で避難訓練を年2回実施しています。通報訓練・避難訓練・消火器・スプリンクラーの使用法についても定期的に行っています。	消防署立会いで年2回避難訓練を実施し、それに加え独自で一人体制での訓練も毎月実施している。3月11日の大震災以降、乾電池・懐中電灯等備蓄を強化し玄関先にソーラー式ライトを即設置した。自動火災通報装置も備えた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄支援時には、必ず戸を閉めたり基本を忘れずに行っている。又、失禁等なった場合にも他ご利用者様の目に入らないよう速やかに支援をする様心掛けています。ご利用者様は人生の先輩として敬意を持って接している。	入居者の人格を尊重し大半の人は下の名前で「～さん」と呼んでいる。トイレ誘導時の声掛けや失禁時の対応等、声のトーンを低くし、さりげないサポートで支援している。居室の出入りは本人の了解を得て行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事が全介助においても献立内容を説明し、どれからどのようにして食べたいか確認をしたり、入浴の際にも着たい服を選んで頂き自己決定が出来る場面を意識的につくるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはありますが、職員側の都合にならないよう一人ひとりのペースを大事にしながらそれに応じた対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時や行事に参加をする時は、いつもと違ったおしゃれを楽しめるように支援し、お化粧をしたり髪を整えたりし外出がより楽しいものになるよう配慮している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を作る際には、利用者様の食べたい食事を取り入れたり昔から馴染んできたメニューを取り入れたりと楽しみのある食事を提供しています。調理・後片付け等については、個々の力を活かしながら役割分担をし、一緒に行っている。	食材は地元業者から購入し、法人の栄養士から栄養バランス等助言を受けて職員が献立を作成している。BGMの優しい音色と共に職員も食卓を囲み楽しい食事風景であった。杵と臼を借りて初めての餅つき大会は喜ばれた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分チェック票にて、水分摂取の確認をしながら支援をしている。状態に応じてトロミ食・刻み食、糖分・油分等の控えめを考慮し、栄養のバランスを取り入れた食事を提供をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の利用者様の能力に応じて支援を行っている。介助が必要な利用者様には、口腔ケア時の自助具を選択し、職員が一方的にならず能力を活かし、工夫をしながら清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンやシグナルを把握し、自然な形でトイレ誘導をしていけるよう支援を行っている。	排泄パターンは時間帯だったりその人のサイン(急な立ち上がり・徘徊・鼻をかく)を把握し、職員のさりげない言葉掛けでトイレ誘導が行われている。夜間トイレの見守り等一人ひとりの自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取はもちろんの事。普段の食事にも繊維質の物や寒天ヨーグルトを欠かさず取り入れ一人ひとりの排便チェック票を用いて確認をしながら支援を行なっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者様の希望に沿って入浴して頂ける様職員間で調整をしながら入浴を実施している。利用者様の希望にて仲の良い利用者様同士で入浴頂くこともあります。入浴が楽しめるよう一緒に歌を唄ったり、昔話をしながら入浴して頂いている。	基本的には日曜以外は毎日入浴ができる(日曜日は外出)。仲間同士で歌を唄ったり、会話をしたりゆっくりと入浴を楽しまれている。拒む方には、好きな入浴剤を使ったり季節のゆず湯など工夫して入浴に繋げている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前にはパジャマに更衣して頂き、日中との区切りをつけ夜という事を意識づけゆっくりと休んで頂けるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院から処方された処方箋を全職員が目を通し確認した上で服薬の支援を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、出来る事や喜ばれる事に着目しながら日々の生活の中に役割として取り入れ、満足感や達成感を味わって頂き、次の意欲に繋がるような声掛けや感謝の気持ちを必ず伝えている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候を見ながらホーム周辺の散歩を積極的にしている。歩行困難な利用者様には、車椅子やリフト付きの車を使用し、散歩やドライブ等に出掛けています。ご家族様へも声がけをし、季節毎に全員で食事を兼ねながら出掛けています。	暖かい日には散歩に出掛け山菜採りや秋の味覚を楽しんでいる。回廊式の廊下で入居者同士が車椅子を押して散歩をしたり、化粧をして買物に出掛け気分転換にもなっている。ホームの行事には家族も参加し、全員で日帰り旅行を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持することで安心されている利用者様には、ある程度のお金を所持して頂き要望があれば買物の支援を行なっている。行事での外出では、財布を持って頂き、好きな物を購入する機会を設けています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があった時には、取次ぎや電話をかける支援を行なっています。手紙やハガキが届いた時には希望により読んであげたりと支援を行なっています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	暖房が入っている事と空気の入換えの為、午前・午後と換気を行い気持ちよく過ごせるように配慮している。造花を避け玄関や食堂に季節の生花を飾り季節感を味わって頂いている。	居間や廊下は広々として明るく、午前・午後の換気に配慮している。落ち着いた木のぬくもりとホーム全体が床暖で温かく、回廊式の廊下は思い出の写真や絵画等で飾られている。仲間同士が中庭を眺めて日向ぼっこを楽しみ、心地の良い空間づくりになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	茶の間の所に、座りやすい縁台があり、日向ぼっこが出来、中庭が見えたりし居心地の良い場所になっています。玄関先には、ベンチもあり天気の良い日には外気浴が出来季節の花々も見れる場所になっている。共有スペースにおいては、BGMに心地良い音量で馴染んできた音楽		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際は、馴染みの家具や使い慣れた物を使用して頂ける様ご家族様と共に配慮をしています。又、家具類だけではなく衣類等の好み等や習慣にも配慮をしています。	居室にはミニタンス・洗面台等備え付けられている。家族の協力の下、テレビ・ラジカセ・加湿器・タンス・お位牌等が持ち込まれている。家族の写真の傍に置き畳を敷いて過ごすなど自分の住まいとして安心して生活している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室前にネームプレートを掛けたり、ご利用者の写真を掲示しご自身の部屋がわかりやすいように表示しています。視力低下の利用者様には、安全面を重視し、見守りの徹底と共にその都度適切な声をかけています。		